

2018年度 活動報告書





ABCジャパンは外国人コミュニティ支援を目的に、2000年に発足しました。

「定住外国人の自立」

「多文化共生」

「子どもの教育保障」

この3本柱で鶴見区を拠点に活動を行っています。

活動概要

- フリースクール
- 学習補習塾運営
- 放課後学習支援教室「つるみーによ」
- ポルトガル語教室
- カポエイラ教室
- 第2種電気試験対策講座
- 相談対応
- 交流・ネットワークづくり
- ガイドブック等の作成



この1年を振り返って…



この1年は大きな変化の1年でした。

まずはフリースクールの対象年齢拡大。

そして6月には当団体理事長がブラジルの国家勲章
リオ・ブランコを授与されました。

活動拠点の鶴見ではもう10回開催している
大学ガイダンスですが、鶴見までは足を運びに
くい湘南地域にもと、秦野で開催。参加人数103名と、
想像以上の参加者がありました。

助成金

かながわボランティア活動推進基金21
の助成金をもらって活動を行いました。
昨年度は、フリースクール、大学ガイダ
ンス、小・中ガイドブックを作成しました。

メディア掲載

タウンニュース鶴見区版(2018/6/28)

「ブラジル最高勲章を受章

—支援活動に評価」

読売新聞(2018/10/14)

「日系ブラジル人支える

横浜のNPO 生活相談、塾など多岐に」

4月 第2種電気工事士試験対策講座上期開始



5月 校内放課後学習支援教室「つるみ〜によ」開始
三ツ池フェスタ ブース出展



6月 フェリス女学院大学・法政大学国際高等学校にて 出張授業&ワークショップ
鶴見川クリーンキャンペーン参加
理事長 国家勲章授与



7月 横浜隼人高校とABCフリースクールの生徒との交流会



8月 リサイクルツアーに参加
相模原中等教育学校へブラジル文化紹介
つるみ〜によ夏休み支援教室
大井町どんたく夏祭り ブース出展
第2種電気工事士試験 対策講座下期開始



9月 高校進学ガイドブック作成
高校進学ガイダンス(鶴見)開催
中南米留学生研修実施

10月 大学進学ガイダンス(鶴見)開催
横浜隼人高校とABCフリースクールの生徒との交流会
つるみ臨海フェスタ ブース出展



11月 ウチナー祭 ブース出展
トレジャーハントより依頼、ブース出展



12月 ネットワーク会議参加
人権メッセージ展 展示

1月 Feira do educação(教育フェア) にブース出展・大学進学ガイダンス実施
広がれボランティアの輪より依頼、講演



2月 外務省研修実施
高校受験
手引き改定会議参加
大学進学ガイダンス(秦野)開催
潮田中学校の多文化デーコーディネート
ボランティアフェスタ ブース出展



3月 卒業式・修了式
フリースクールスポーツ大会実施
JICA研修実施
小学校・中学校ガイドブック作成



子どもの教育保障

ABCフリースクール

わたしたちは2009年よりフリースクールを行っています。

- ・来日したばかりで日本語が分からない子ども
- ・母国で中学を卒業し、高校進学を希望する子ども
- ・習慣や文化などの違いからなじめない、いじめにあったなどの理由で学校に通っていない子ども

を対象に、週4日、1日5時間授業を行っています。

中学編入や高校進学などそれぞれの目標のため、

日本語や数学・英語の授業を行っています。

今までは、母国で中学を卒業し、高校進学を希望する子どものみを対象にしていたのですが、30年度から中学生・不登校の子どもも対象になりました。



私たちのフリースクールでは、単に勉強だけでなく、地域との関わりも大切にしています。昨年度は地域イベントの準備を手伝ったり参加したり、地元高校との交流会を開催したり、地元NPOが開催している「おなかま食堂」のカレー準備を手伝ったりしました。日本人とのつながりをつくることで、外国につながる子どもたちも地元の日本人もお互いのことを知るきっかけになるよう、本年度も継続していきます。

生徒数計19名(学齢超過9名、中学生8名、高校生2名)

ブラジル5名、フィリピン6名、中国3名、ペルー3名、アメリカ2名



フリースクール卒業生



フリースクールも開始から9年。卒業した子たちも大学入学が決まったよ！と報告に来てくれます。さらには大学卒業しました！という子も。日本語がわからない・不登校だった子もここから将来を切り開いている姿を見て、フリースクールの重要性を再確認しました。

つるみ～によ (放課後校内学習支援教室)



参加登録者数:44名
対象:外国につながる子ども
実施:毎週火曜日放課後、図書室にて

全校生徒の2割以上が外国につながる子どもの地元小学校で放課後、学習支援教室を開いています。子どもたちはここで、宿題を終わらせてから帰ります。勉強だけでなく、自分と似たバックグラウンドを持った子どもが集まるので、学校の中に自分のクラス以外の居場所をつくる役割も果たしています。また、スタッフには大学生ボランティアも参加しており、普段身近に大学生が少ない子どもたちにとっては、大学生に会える大切な場にもなっています。また「おにいさん・おねえさん」に会ってお話するのを楽しみにしている子どももいます。夏休みには宿題教室を3日間開催しました。

高校進学ガイダンス

ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語の通訳付で高校進学ガイダンスを実施しました。昨年度はガイドブックを作成し、それを使って説明を行いました。高校進学は国によって方法がまったく異なります。ですから、私立と公立の違いなどの基本的なことから併願、受験・入学にかかるお金、さらに来日したての子どものための在県外国人等特別募集などについても説明しました。現役高校生も呼び、実際の話聞ける時間も設けました。



9/15(土) in鶴見、参加者78名

大学進学ガイダンス&キャリアガイダンス



10/14(日) in鶴見、参加者71名
2/24(日) in秦野、参加者104名

ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語の通訳付で大学進学ガイダンスを実施しました。今回は高校進学後の選択肢として大学だけでなく、短大や専門学校、夜間大学についてもお話ししました。現役大学生のインタビューや、外国につながる社会人のお話など、大学進学だけでなく、将来について考えられるようなプログラムでした。また大学のブースなども設置し、直接話せる場もつくりました。今回初めて秦野で開催しましたが、各方面から多くの方々に参加していただき、神奈川県央地域への支援の重要性を改めて痛感しました。

多文化共生

教室開催



ポルトガル語教室

火曜日～金曜日までレベルに合わせて開催。講師はジャーナリストのブラジル人が務めています。個人レッスンも合わせて19名。これからブラジルに行く方や、サンバが好きな方、海外青年協力隊から戻ってきた方など、動機は様々。文法はもちろん、ブラジル人たちが普段つかう口語表現も学ぶことができます。ブラジリアンジョークを交えながら、いつも笑い声が絶えない教室です。



カポエイラ教室

昨年度から日本生まれの子どもは中々ブラジル文化を知る機会がないとカポエイラ教室を開始。毎週金曜日小学校の体育館をお借りして開催しています。月謝は家族ごととなり、現在は18家族が参加しています。当初はブラジルにつながる家族が多かったものの、現在は中国や日本の方々も参加しています。子どもたちがブラジルのリズムに合わせてながら、楽しそうにエネルギーを体に動かしています。

学校との関わり



出張授業&ワークショップ in高校・大学

出張授業では、日本にいる子どもたちの現状を話したり、日本語ができたとしても抱える悩みなどをお話しました。また、将来出会うかもしれない外国つながりの子どもたちにどう接すればいいのかを一緒に考えました。ワークショップでは、外国語を使って買い物をしたり、計算をしたり、薬の相談をしたり…など、「外国人」になってみる経験をしてもらいました。フリースクールの子どもたちがネイティブ役になり、「教えてもらう側」ではない経験に、楽しそうにしていました。



多文化デイ in中学校

全校生徒の2割以上の中学校で開催されている多文化デーのコーディネートを行いました。ブラジル文化のカポエイラやサンバ、料理、中国のお話など、グループごとに分かれて参加。最後は全体で集まり、それぞれ発表しました。「他国の文化は日本と違い、楽しそうに他国に行ってみたいと思いました」という感想がありました。

研修実施



ABCジャパンを2000年に設立してから、様々な機関と連携しながら多くの取り組みを行ってきました。その今までの活動から、「団体紹介をしてほしい」との依頼を頂けるようになりました。

- ・中南米留学生研修
- ・広がりボランティアの輪 勉強会(全国社会福祉協議会)
- ・JUNTOS!!(外務省)
- ・JICAボランティア「日系社会」技術補完研修



イベント参加



昨年度は4か所のイベントにブース出展。同じ地域に住んでいても、中々ブラジル文化を知ってもらえる機会が少ないため、積極的に参加しています。ブラジルのアクセサリー販売や、ブラジルソーセージ「リングイッサ」の販売を行いました。鶴見区には沖縄・南米出身者が多くいます。そこで、今年度はうちなーぐち(沖縄方言)・ポルトガル語・スペイン語の「ことばクイズ」を実施。子どもから大人まで幅広い年代の方々に楽しんでいただけました。



定住外国人の自立

第2種電気工事士試験対策講座



鶴見区には歴史的背景から、電気工事に携わる南米出身者が多く住んでいます。しかし電気工事士の資格は国家資格であり、日本語(漢字)を読めないと合格は難しいです。そこで、安定した就労のための支援として対策講座を開始しました。今年で●年目になります。講座ではオリジナルテキストを用いて、「使用＝使う」などの漢字の意味から、問題の解き方を扱っています。合格者もでした。

講座は全5回、6時間
上期参加者:35名、下期参加者:15名

